

やまなみ

2017
夏
vol.17



北アルプス国際芸術祭
「Bamboo Waves」ニコライ・ポリスキー photo by Tsuyoshi Hongo

【特集記事】

長野県社会福祉事業団 第3次長期構想策定!!!
誰もが笑顔で輝く社会を創造します

【連載記事】

事業所リレートーク
チャレンジ・アクション

長野県社会福祉事業団 内部監査室設置!

つづれ福祉

大北圏域障害者就業・生活支援センター 事業スタート
「地域で暮らそうフォーラム2017!」を開催します

平成29年度組織概要／平成29年度事業計画・収支予算書／
平成28年度事業報告・収支決算書／人事異動／プレゼント ほか

北アルプス
国際芸術祭
JAPAN ALPS
ART FESTIVAL
2017



photo by たつみかずき

事業団は今年度から大北圏域での事業をスタートしました。
事業所が所在する大町市では6/4~7/30の57日間、「北アルプス国際
芸術祭2017」が開催され大いに盛り上がりしました。

本年四月、常務理事に就任しまし
た小宮山です。前任の伊藤常務理事
同様よろしくお願ひ致します。
今年度は、社会福祉法改正に伴
い、全国の社会福祉法人が新体制で
の船出となりました。
当事業団でも、新たな評議員、理
事による新体制で、懸案であった
「長野県社会福祉事業団第3次長期
構想」について承認いただくなど、
これから5年間の運営方針を決定す
ることができました。

開していく中で、運営主体としては
一定の規模が求められる時代です。
しかし一方では、規模の拡大がきめ
の細かいサービス提供から距離を置
くことになるのではないかとこのこ
とが懸念されます。
事業団第3次長期構想では、「誰
もが笑顔で輝く社会を創造します」
を経営理念としました。利用される
皆さんばかりでなく、当事業団に関
わる全ての皆さんが信州という自然
豊かな風土の中で自分らしく豊かな
生活を送ることができるよう事業運
営を進めて行きたいと思ひます。皆
様には、今後とも一層のご協力をお
願ひします。



いぬいしゅ

長野県社会福祉事業団常務理事 小宮山紀道

第3次長期構想策定!!!

社会を創造します

長期構想策定委員会メンバー

委員	所属	役職名	氏名
委員長	長野県社会福祉事業団	理事長	和田 恭 良
副委員長	長野県社会福祉事業団	常務理事	伊 藤 敏
委員	長野ブロック	ブロック長	小宮山紀道
委員	松本ブロック	ブロック長	佐 藤 靖
委員	上伊那北部ブロック	副ブロック長	北 澤 和 明
委員	上伊那南部ブロック	ブロック長	滝 茂 樹
委員	障がい者福祉センターブロック	ブロック長	関 口 一 道
委員 (保護者代表)	西駒郷保護者会ひまわり分会	分会長	松 井 家 直
委員 (学識経験者)	信州医療福祉専門学校	副校長	友 田 淳
委員 (他法人経営者)	社会福祉法人信濃友愛会	常務理事	赤 羽 信 行
事務担当者	本部事務局	事務局長	塩 沢 総 夫
	本部事務局	事務局次長	善 哉 健 次
	本部事務局	企画課長	濱 田 琢 也

※所属役職名は策定当時



社会福祉法人の運営は、平成12年の社会福祉基礎構造改革を契機に一般企業と同様な経営感覚を要求される時代となりました。事業団では、こうした変化に敏感に対応し社会福祉法人あるいは事業団としての役割を見失うことなく時代に応じた運営を行うためアクションプラン（平成17年度～平成20年度）や第1次長期構想（平成19年度～平成24年度）を策定し事業展開してきました。

平成24年度から平成28年度までは第2次長期構想に基づき事業展開をしてまいりましたが、平成28年度は第2次長期構想の最終年度となるため、事業団経営の中核機関のメンバー、そして社会的ニーズを反映させるため外部委員を含めた「長期構想策定委員会」を設置し、第2次長期構想の検証を行った上で、次の5年間の法人運営の充実を図るための第3次長期構想（平成29年度～平成33年度）を策定しました。



第3次長期構想の基本的方向

「夢・情熱・連携が織りなす豊かな暮らし」



障がい者に対する福祉サービスは、長い間施設サービスを中心に行われてきましたが、ノーマライゼーション理念の浸透とともに障がい者の権利擁護意識が高まり、障がい者も地域で暮らすことがあたり前であり、それを実現できる社会をつくらうということで社会が動き始め、地域福祉の充実に舵が切られました。

事業団では、こうした外部環境の変化に的確に対応することに努め、これまでに障がい者の地域生活の実現や障がい者の地域生活を支えるシステムづくりに積極的に取り組んできています。今後においてさらに充実を図り共生社会の実現を目指します。

事業団の目指す共生社会とは、障がいのある人もない人も一人ひとりの存在が認められ、輝いた生き方ができる社会です。そのために、事業団は地域で暮らすすべての人たちに焦点を当て地域課題の解決に積極的にかかわる中において、地域住民の人々が皆で支え合うことの必要性や喜びを高められるよう全力で取り組むこととし、P3の体系図のとおり「経営理念」およびその理念を達成するための「経営方針」、そして「具体的施策」を掲げ事業展開することとしました。

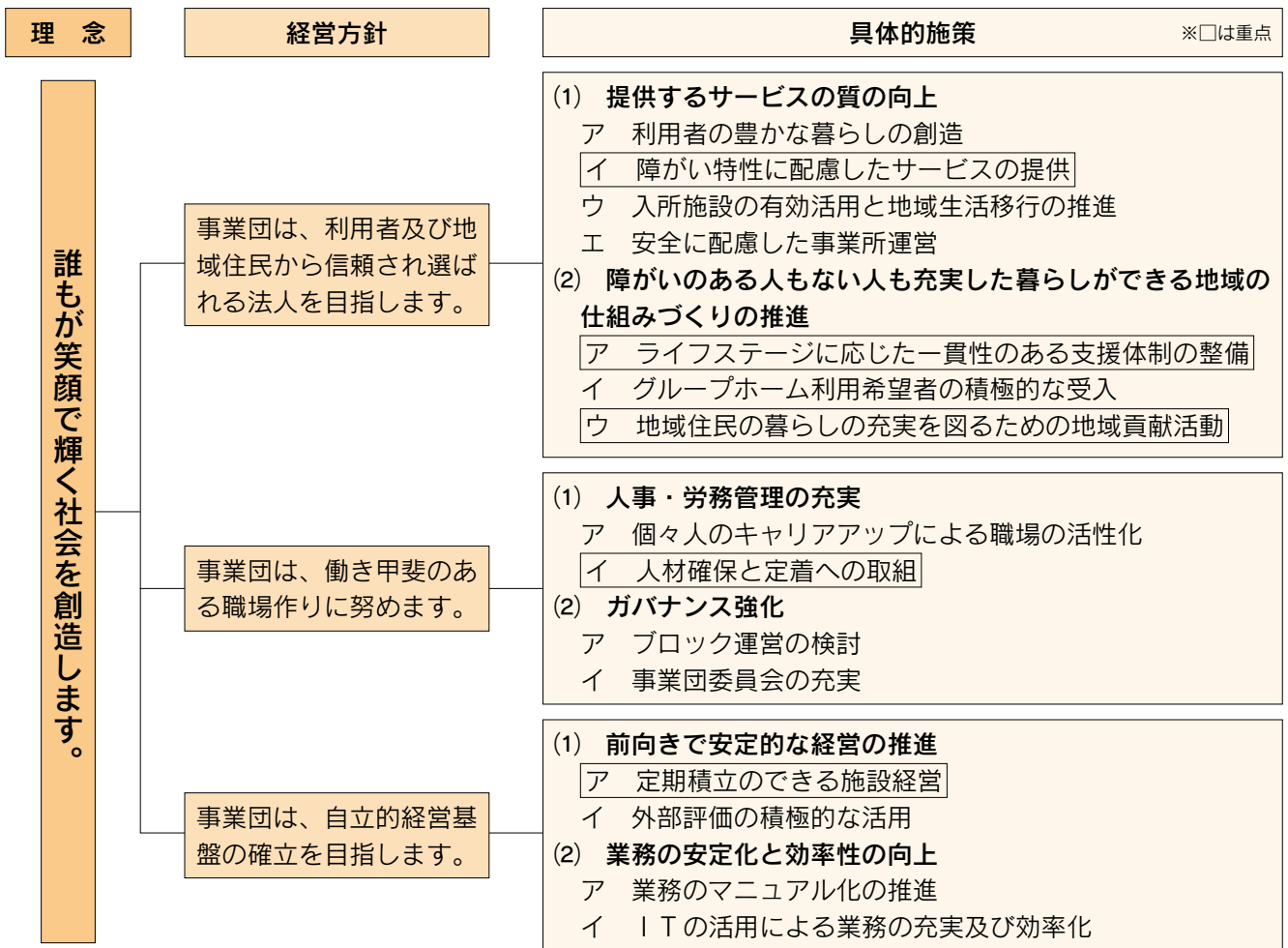
なお、「具体的施策」のうち、次の5項目を「重点施策」として事業に取り組みます。



長野県社会福祉事業団

誰もが笑顔で輝く

第3次長期構想の体系図



①②については、提供するサービスの質を担保するために大切にしなければならぬことです。その中においても「障がい特性に配慮したサービス」や「ライフステージに応じたサービス」ということは支援効果を上げるためや利用者の人権擁護の観点からも重要となります。

③については、社会福祉法人に課せられた役割であることと、事業団の理念とも一致し、共生社会の実現を図るために必要な取組となります。

④については、利用者へのサービスを提供するために必要とされる職員が近年数的に充足できていない状況です。このことは、県内の同種の法人においても同様な傾向にあり、さらに深刻化していくのではないかと言われています。こうしたことから、法人として積極的に対策を講じる必要があるためです。

⑤については、社会福祉法人が安定して継続的に事業を展開していくためには、将来を見据えた計画的な経営が必要となります。

- ① 障がい特性に配慮したサービスの提供
- ② ライフステージに応じた一貫性のある支援体制の整備
- ③ 地域住民の暮らしの充実を図るための地域貢献活動
- ④ 人材確保と定着への取組
- ⑤ 定期積立のできる施設経営

レベルアップ研修開催状況

- 7/6
松本会場：豊科交流学習センター「きぼう」
(安曇野市) …52人参加
- 7/8
長野会場：県社会福祉総合センター研修室
(長野市) …82人参加
- 7/25
上伊那会場：西駒郷
(駒ヶ根市) …150人参加



松本会場



長野会場



上伊那会場

この第3次長期構想の基本的方向を職員全員で共有するため、全職員を受講対象者として毎年開催している「長野県社会福祉事業団レベルアップ研修」で説明を行いました。

職員の声 (レベルアップ研修アンケート結果)

- ・各事業所の取組や今後の方針が分かり良かった。
- ・自分の事業所のことさえ知らなかった。目の前のこと(日々の支援)だけでなく、事業団全体の方向性について把握する必要があると感じた。意識しなければ難しいが。
- ・理念などは繰り返し伝えていただかないとなかなか浸透しないと思います。以前より覚えやすくして良いかと思います。
- ・5年間のことなので、毎年(レベルアップ研修で)進捗を発表したらどうか。
- ・事業団が目標とすることが全員で統一・周知・確認する機会であり、とても大切に大事なことで参加できてよかったです。
- ・事業団が一丸となって取り組まなくてはならないことを感じました。
- ・支援方法を「夢・情熱・連携」と見える化することによって、利用者の思いや支援方法が分かりやすくなった。
- ・所属事業所以外の改装、廃止、新築等理解できました。
- ・利用者さんの夢を叶えるため、事業団職員としてその一助となるように頑張りたいと思いました。また構想という夢を聴いたことで職員が前向きになることができるなど感じました。
- ・ブロックの特色やニーズはそれぞれだと思うので、事業所、ブロックの連携を大切にしながら法人としての役割を念頭において業務ができると良い。

策定メンバーコメント



長野県社会福祉事業団理事／
上伊那南部ブロック長／西駒郷所長
塩沢 総夫
(策定当時役職：事務局長、第3次長期構想策定委員会事務担当者)

長野県内にも多くの社会福祉法人、NPO法人等がある中で、事業団は全県下で事業展開し、事業も拡大している中、県の障がい者福祉をリードできるような、他法人の手に本になるような取り組みができればと考えています。そのため、今回の長期構想の策定にあたりましては、

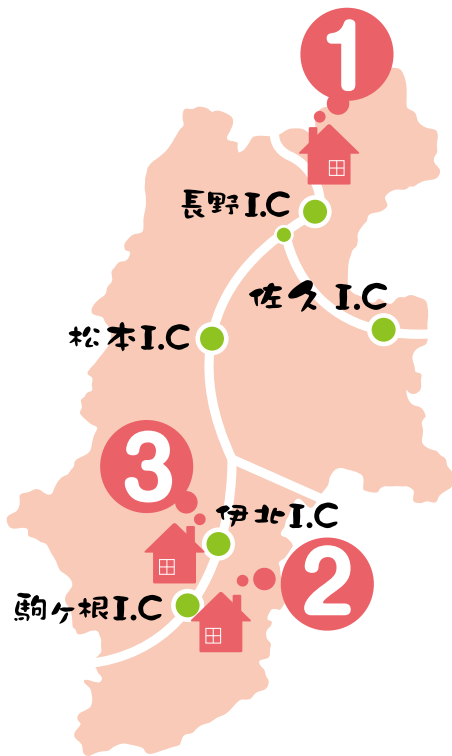
事業団以外の方にも外部委員としてご参加いただき、直接事業団への期待を伺いながら計画を立案しました。

また、これからの社会福祉は今以上に「福祉ニーズ」に耳を傾け、そしてその課題の解決に向けて本気で取り組んでいかないと生き残れないと実感しています。国の加算制度も実績重視の方向に舵がきられました。こういった中、法人としてあるべき姿を利用者、職員のみならず関係者にもしっかりと示し、中途半端でなく真剣に取り組んでいく必要がある、そういった時代であると思います。今回の長期構想が職員の熱意を掻き立てるようなものになっているかどうかは分かりませんが、現状維持型ではなく、課題解決型の

構想にしたつもりです。

一方、制度が目まぐるしく変化する中であって、法人として外部環境に対応していくことはもちろん大切ですが、障がいのある方、一人ひとりの人生を、本当に自分らしい、あるいは満足して幸せに生きていけるような、そんなサービスを提供することが我々の本務であるという核心の部分から絶対にはいけなさと感じています。そのため、前回の第2次長期構想は障がいの有無に関わらず「信州人としての暮らし」に重きをおいて策定しましたが、今回の第3次長期構想は、その理念を踏襲しつつも、利用者、職員、関係者に事業団の進むべき姿や支援の方針をより分かりやすく伝えられるように配慮しました。

今後、この第3次長期構想に基づいて事業を推進するため、理念、キヤッチコピーに沿って職員一丸となり取り組んで参りたいと思います。関係者の皆様にもご支援、ご協力賜りたくよろしくお願いいたします。



① 小春日和

～お弁当配達で地域貢献～



小春日和では、毎日約100個のお弁当を作っています。

その中の数個は、近隣の一般家庭（独居老人宅）へ配達しています。

ご本人、ご家族からはもちろんのこと、地域包括支援センターからの依頼もあり、お弁当の製造・配達だけにとどまらず、世間話をしながら安否の確認をおこなっています。

また、小春日和では季節の行事や会議用のお弁当注文も受け付けています。

その中でもご好評いただいているのが、こちらの9マス弁当!!

旬の食材と季節をたっぷり感じられるお弁当を心をこめて手作りしています。

地域の中にある施設が、地域の一員として地域に根ざし、地域貢献ができるようにこれからも努めていきたいと思えます。
(仲田)



② ほっとグループホーム伊南

～スプリンクラー設置とホーム改修をおこないます～



消防法施行令の改正により、障がい者グループホームなど障害者施設等は原則としてスプリンクラーの設置が義務付けられることになりました。それに伴い、「せせらぎホーム」では大家さんにご協力いただき、利用者の安全確保のためスプリンクラーの設置を行うことにしました。また利用者の重度化、高齢化も見られるようになり、既存の浴室、トイレでは段差や浴槽の深さなど危険箇所が多くなってきたことから、浴室、トイレの改修工事も同時に行いました。個室トイレのスペースを広く取り段差を解消し、浴室も新しくなり、利用者の方が快適かつ安全に利用できるようになりました。新しい浴室で利用者も快適に過ごしています。(坂井)



③ 上伊那圏域障がい者総合支援センター「きらりあ」

～誰もがきらきらかがやく街に～



平成28年2月、以前の事務所（伊那市山寺）から南箕輪村の新しい事務所に移転しました。ぬくもりのある木の壁が心地よく、窓から見える青空やそよぐ木々の葉に季節を感じながら仕事をしています。お近くにお越しの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。

さて、今年度は上伊那圏域相談事業の「基幹相談支援センター」として中核的役割を果たせるよう相談事業の充実とスタッフのスキルアップを図っていきたく思います。

また、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい児者やその家族が地域で安心して生活するために、緊急時にすぐ相談でき、必要に応じて緊急的な対応が図れる体制整備（地域生活拠点整備）を市町村とともに地域自立支援協議会として取り組んでいきます。

“誰もがきらきらかがやく街に”…これからの皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします。
(宮脇)



長野県社会福祉事業団 内部監査室設置！



監査室の様子

長野県社会福祉事業団は、従来から、「提供するサービスの質の向上」や「働き甲斐のある職場作り」、そして「信頼される事業団作り」を目指して業務にあたってきました。このたび、その理念を具体化する取り組みの一つとして、平成29年4月に「内部監査室」を設置し、下記のとおり内部監査を実施するとともに、「コンプライアンスに関する通報制度」を創設いたしました。

現在、この取り組みを事業団全体で情報共有するため、二人体制で職員向け通知の送付やレベルアップ研修等で説明をしているところです。

①内部監査

【内部監査の具体的な進め方】

1 内部監査の視点

- ・組織運営や業務・会計の手法・手続き等が適正・公正に行われているか、また、それらが有効に機能しているか
- ・各機関がどのような課題（悩み）を抱えているか、また、それらについて事業団全体として共有し、解決に向けて取り組めないか

2 監査の進め方

- (1) 事前にチェックシートを各施設で記入
- (2) 施設に訪問し、管理者等との面談しながらチェックシート等を確認、報告書の作成
- (3) 理事会等への報告、提案、フォローアップ

3 チェック項目（主な監査対象業務）

- (1) 組織運営・職員管理関係
 - 超過勤務・休暇取得管理
 - 健康管理・メンタルヘルス・安全衛生
 - 職員の資質向上・モチベーションアップの取り組み
 - 職員間のコミュニケーションづくり・ハラスメント防止・管理者のリーダーシップ
- (2) 利用者の処遇・施設運営関係
 - 安全管理・リスクマネジメント
 - 個人情報保護・ITセキュリティ
 - 人権擁護・虐待防止・苦情処理
 - 利用者の処遇・サービス向上

②コンプライアンスに関する通報制度

1 通報制度の目的

法令や事業団の諸規程に違反する行為の早期発見とその是正を行うとともに、通報者の保護を図る

2 通報後の流れ

- (1) 職場又は職員の不正行為に関する職員からの内部通報を、メール、書面等で受ける
- (2) 通報された事案について、内部監査室が事実関係等を調査
- (3) 不正事実が確認された場合は、理事長に報告し、事業団において是正措置及び再発防止策を講じる

※通報者の秘密保持に配慮するとともに、通報者への不利益取扱いは禁止される

3 通報対象となる行為

- 法令違反（刑法、個人情報保護法等）
- 県及び市町村の条例違反
- 事業団の諸規程に反する行為
 - 例 ・ハラスメント
 - ・資金関係の不適切な取扱い
 - ・利用者への虐待
 - ・情報漏えい

今年4月から事業団の監査兼内部監査室長をしている藤森靖夫と申します。

内部監査室というのは今年の4月に新しくできた組織でありまして、皆さんの所に何って、皆さんの仕事に適切に行われているかどうかということをチェックしたり、あるいは皆さんの課題というか、悩みみたいなものをお聞きして、事業団全体として解決に向けて取り組めないかというような仕事をしています。

それからもう一つの仕事ですが、今度新しくできましたコンプライアンスに関する通報制度の受付窓口です。

制度の概要は上記のとおりですが、私から皆さん方にお願いがあります。

「コンプライアンス」というのは「法令を遵守する」ということですが、単に法令だから事業団の諸規定に違反しなければいいんだということではなくて、社会の良識に従うだとか、あるいは社会に貢献をしていくといった、もっと広い意味が含まれております。

こういったことを行っていくために大変大切なのが仕事場の雰囲気作りということです。

職員一人ひとりが互いにコミュニケーションを密にして、仕事を協力しあう、そのようないい雰囲気作りを、管理職だけではなくて職員の皆さま方一人ひとりに取り組んでいただければと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



長野県社会福祉事業団
監査役兼内部監査室長
藤森 靖夫

レベルアップ研修

長野会場（藤森室長）



松本会場（森室員）

大北圏域障害者就業・生活支援センター 事業スタート



大北圏域障害者就業・生活支援センター
主任障害者就業支援ワーカー

池田裕恒

障がいのある方の就労についてのご相談を担当しています。事業がスタートして5ヶ月が経過しますが、当事業団として大北圏域での事業は初めてですので、各関係機関等との連携を図るとともに、松本圏域内にある「松本ひよこ」や障害者就業・生活支援センター事業の経験が長い「上伊那圏域障がい者総合支援センター『きらりあ』」のアドバイスを受けながら、障がいのある方の「働きたい」「働き続けたい」という気持ちを大切に、一緒に悩み考えていこうと思います。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

また、大北障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会を開催する等、協議会の発展に努めるとともに、各市町村やサービス提供事業所等、障がい者に関わる各関係機関はもちろん、社会資源の活用のために必要な機関等との連携を深めて支援に当たります。

当事業の実施に当たっては、大北圏域障害者総合支援センターの協力を得ながら、圏域における障がい者の実態の把握に努めるとともに、職業生活における自立を図るために継続的な支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉等の関係の拠点となって、就業支援及び就業に伴う生活に関する支援などを積極的にを行います。

これまで大北圏域での直接的な事業展開はしてきませんでしたが、入所施設の地域生活移行を推進する当事業団としては、地域生活移行を推進していく上での基盤づくりとしての効果や地域での活動が職員資質の向上につながる事が期待できると考えて応募し、指定事業者を選定されました。

大北圏域障害者総合支援センター「スクラム・ネット」の障害者就業・生活支援センター事業は、大北圏域の前指定事業者による平成29年4月以降の支援が困難となり、長野県から新たな指定候補者の募集がありました。これらで大北圏域での直接的な事業展開はしてきませんでしたが、入所施設の地域生活移行を推進する当事業団としては、地域生活移行を推進していく上での基盤づくりとしての効果や地域での活動が職員資質の向上につながる事が期待できると考えて応募し、指定事業者を選定されました。



「地域で暮らそうフォーラム2017!」を開催します



「地域で暮らそうフォーラム
2017!」実行委員会

委員長 **中村 彰**
(長野県手をつなぐ育成会会長)

このフォーラムの特徴は、長野県内の社会福祉法人やNPO法人等から色々な方々が集まって実行委員会を組織している点にあります。実行委員の皆さんは間違いなく長野県の障がい者福祉をリードしている、あるいはこれからリードする方ばかりです。そのため私は「自分たちのやりたい、納得できるフォーラムを作り上げて欲しい」と常々話しています。その夢を実現できれば、参加する当事者、支援者も必ずや満足していただける内容になるだろうと確信しております。

現在、実行委員の皆さんがフォーラムの準備に向け県内を奔走しています。皆様のご参加を心からお待ちしています。

地域で暮らそうフォーラム2017! ～地域で暮らし続けるために～

主催：地域で暮らそうフォーラム2017! 実行委員会
共催：長野県/諏訪地域障がい福祉自立支援協議会フォーラム実行委員会

開催日：11月10日(金)～11日(土)
会場：①長野県男女共同参画センター「あいとびあ」(岡谷市)
②おかや総合福祉センター「諏訪湖ハイツ」(岡谷市)
③信州上諏訪温泉「浜の湯」(諏訪市)

内容：

- 1日目 10日(金)
 - ・圏域対抗歌合戦inすわ [会場①]
 - ・分科会(地域移行その後/児童支援について/重症心身障がい児者/相談支援の現場/障がいのある方の犯罪/当事者プログラム(諏訪地域めぐり) [会場①②])
 - ・交流会 [会場③]

- 2日目 11日(土)
 - ・講演「第3の居場所」って?～家でも学校でも職場でもない居場所作り [会場③]
 - 講師：沖縄青少年自立援助センターちゅらゆいセンター長 坂本将吏氏

- ・県営 地域で豊かに暮らし続けるために～長野県版「第3の居場所」を考える～ [会場③]

シンポジスト：長野県健康福祉部 障がい者支援課長 守屋正造氏
(特非)グランド・リッシュ 代表 望月美和氏
R for I 代表 山室典子氏
コーディネーター：(社福)高水福祉会 常務理事 丸山哲氏

長野県では「西駒郷(県立入所施設・当時定員500人)」の利用者の地域生活移行推進を期に、民間入所施設も含めて県内全域で「地域生活移行」が本格的に始動しました。

この取組は県・市町村・民間法人・地域住民等との組織的連携により、「生活の場」(グループホーム等)、「日中活動の場」(作業所等)の確保や相談支援事業所の開設等が着実に進み、いわゆる「長野モデル」として全国から注目を浴びたため、この取組の底上げと全国発信を視野に、平成17年度から「地域で暮らそうフォーラム」を当事業団も企画して開催しています。(※平成21～24年度は未開催)

10回目の節目となる今回は「地域で暮らし続けるために」をテーマに、初めて「中南信」地区で開催します。



「地域で暮らそうフォーラム2016!」開会式(会場：長野大学)

【長野ブロック】

- ① 水内荘**
 ・施設入所支援事業（定員40人）、生活介護事業（定員60人）
 ・短期入所事業（併設型6人）、相談支援事業（一般・特定）
- ② みのちグループホームセンター**
 ・共同生活援助事業（14ホーム 定員71人）
- ③ 歩楽里**
 ・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、放課後等デイサービス事業
 ・居宅介護事業（行動援護・身体介護・家事援助・通院介助）、
 地域生活支援事業ほか
- ④ 八雲日和**
 ・生活介護事業（定員25人）、就労継続支援B型事業（定員25人）
- ⑤ 小春日和**
 ・就労移行支援事業（定員6人）、就労継続支援B型事業（定員14人）
- ⑥ 長野市地域活動支援センターこぶし**
 ・地域活動支援センター事業（定員15人）

ブロック長 小島 健一（水内荘所長）
 副ブロック長 板倉 吉子（八雲日和所長）

【障がい者福祉センターブロック】

- ⑩ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」**
 ・障がい者のスポーツ・文化活動支援事業
- ⑪ 障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポーツながの」**
 ・サンアップルの北信サテライト事業所
- ⑫ 障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポーツ駒ヶ根」**
 ・サンアップルの南信サテライト事業所
- ⑬ 障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポーツまつもと」**
 ・サンアップルの中信サテライト事業所
- ⑭ 障がい者スポーツ支援センター佐久「サンスポーツ佐久」**
 ・サンアップルの東信サテライト事業所

ブロック長 佐藤 靖
 （障がい者福祉センター所長）
 副ブロック長 山崎 珠美
 （障がい者福祉センタースポーツ課長）

【松本ブロック】

- ⑦ 信濃学園**
 ・福祉型障害児施設入所事業（定員30人）
 ・短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
 ・施設入所支援事業・生活介護事業
 ※18歳以上対象、障害児入所事業の定員内で実施
- ⑧ 松本あさひ学園**
 ・児童心理治療施設（入所30人、通所5人）
- ⑨ 松本ひよこ**
 ・生活介護事業（定員21人）
 ・就労継続支援B型事業（定員18人）、相談支援事業（一般・特定・障害児）
 ・共同生活援助事業（4ホーム定員23人）
 ・重度障害者等包括支援事業（定員5人）※生活介護事業、共同生活援助事業に含む
- ⑩ 大北圏域障害者就業・生活支援センター**
 ・障害者就業・生活支援センター事業

ブロック長 森岡 恵子
 （信濃学園所長）
 副ブロック長 小澤 聖
 （松本あさひ学園次長）

【上伊那北部ブロック】

- ⑪ ほっとグループホーム伊北**
 ・共同生活援助事業（16ホーム 定員86人）、相談支援事業（特定）
- ⑫ ほっとグループホーム伊南**
 ・共同生活援助事業（9ホーム 定員47人）
- ⑬ ほっと居宅**
 ・居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助）、行動援護、地域生活支援事業
- ⑭ 伊那ゆいま〜る**
 ・生活介護事業（定員15人）、就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑮ ほっとワークス・みのわ**
 ・就労支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑯ 辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」**
 ・就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑰ 辰野町地域活動支援センター「つむぎ」**
 ・地域活動支援センター事業（定員20人）

ブロック長 矢花 尚利
 （ほっとグループホーム伊北所長）
 副ブロック長 宮下 敦志
 （伊那ゆいま〜る所長）

【上伊那南部ブロック】

- ⑱ 西駒郷**（駒ヶ根支援事業部、宮田支援事業部）
 ・施設入所支援事業（定員125人）、短期入所事業（空床型）
 ・生活介護事業（定員160人）
 ・就労継続支援A型事業（定員20人）
 ・就労継続支援B型事業（定員54人）、就労移行支援事業（定員6人）
 相談支援事業（一般・特定）、自活訓練事業

- ⑲ 上伊那圏域障がい者総合支援センター「きらりあ」**
 ・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、障がい児等療育支援事業
 ・発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生活支援センター事業（ほか）

ブロック長 塩沢 総夫（西駒郷所長） 副ブロック長 北嶋 昭（上伊那圏域障がい者総合支援センター専門幹）

※兼務のある職員の所属・職名は主たるものを掲載

平成29年度 長野県社会福祉事業団重点施策

1 提供するサービスの質の向上を図る

- ・発達障がい児者の支援に関する職員の専門性を高めるための研修参加の促進
- ・職員の支援技術の向上のための他機関との交換研修や強度行動障害者の多い事業所へ外部講師を継続的に招いての指導・助言

2 ライフステージに応じた一貫性のある支援体制の整備の充実を図る

- ・信濃学園の18歳を超えた利用者の移行先確保の積極的な取り組み
- ・利用者の高齢化に対応するため介護保険サービス提供の導入についての検討

3 地域貢献活動への積極的な取り組み

- ・地域貢献活動のさらなる充実を図るための事業団委員会における地域貢献委員会の設置

4 人材確保及び定着への積極的な取り組み

- ・職員採用予定者の不足への対応策として採用対象者拡大（高校生対象）及び採用時期の早期化
- ・内部監査室の設置による魅力ある職場づくりへの助言・提言

5 合理的かつ透明性のある経営の推進を図る

- ・幹部職員の経営意識の強化
- ・内部監査室及び会計監査人による適正経営への指導・助言

平成29年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

(単位：千円)

科目		本年度予算額	前年度予算額	増減	科目		本年度予算額	前年度予算額	増減	
事業活動による収入	児童福祉事業収入	198,000	198,000	0	施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	127,000	62,350	64,650	
	保育事業収入	2,330	0	2,330		収入	施設整備等寄付金収入	5,730	0	5,730
	就労支援事業収入	107,117	104,341	2,776		収入	設備資金借入金収入	31,145	0	31,145
	障害福祉サービス等事業収入	2,488,858	2,422,998	65,860		収入	施設整備等収入計(4)	163,875	62,350	101,525
	その他の事業収入	326,749	1,090,724	△ 763,975		支出	設備資金借入金元金償還支出	20,541	20,883	△ 342
	経常経費寄附金収入	530	5,230	△ 4,700		支出	固定資産取得支出	387,091	440,634	△ 53,543
	受取利息配当金収入	738	968	△ 230		支出	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,118	0	2,118
	その他の収入	24,696	25,853	△ 1,157		支出	施設整備等支出計(5)	409,750	461,517	△ 51,767
	事業活動収入計(1)	3,149,018	3,848,114	△ 699,096		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 245,875	△ 399,167	153,292	
	事業活動による支出	人件費支出	2,139,052	2,080,767		58,285	その他の活動による収入	収入	積立資産取崩収入	694,250
事業費支出		414,420	586,688	△ 172,268	収入	その他の活動収入計(7)		694,250	504,446	189,804
事務費支出		368,013	345,541	22,472	支出	長期貸付金支出		474,040	207,127	266,913
就労支援事業支出		107,117	104,341	2,776	支出	積立資産支出		44,479	597,605	△ 553,126
支払利息支出		2,228	2,301	△ 73	支出	その他の活動支出計(8)		518,519	804,732	△ 286,213
その他の支出		19,734	20,696	△ 962	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	175,731		△ 300,286	476,017	
事業活動支出計(2)		3,050,564	3,140,334	△ 89,770	予備費支出(10)	20,276		5,557	14,719	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		98,454	707,780	△ 609,326	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,034		2,770	5,264	
					前期末支払資金残高(12)	512,900		451,149	61,751	
					当期末支払資金残高(11)+(12)	520,934		453,919	67,015	

1 経営・組織体制の確立

事業の適正化に向け下記の取り組みを行いました。
 (ア) 制度改正(社会福祉法等の改正)に伴う各種規程・規則等の見直し
 (イ) 長野県主催による「西駒郷のあり方検討会」への参画と検討
 (ウ) 大北圏域障害者就業・生活支援センター事業の受託(平成29年度から事業スタート)



アンガーマネジメント研修(レベルアップ研修)

2 健康管理

改正労働安全衛生法に基づき、職員の「ストレスチェック」を全事業所対象に実施しました。(実施者数413人/498人)

3 リスクマネジメントの強化

障がい者施設での殺傷事件を受け、再度各事業所の防犯対策状況の確認・見直し・検討を行うとともに、地域自治体との防災協定の締結や訓練を実施しました。



第50回全国社会福祉事業団大会

4 権利擁護の充実

職員にアンケートを実施するなどして虐待防止策について検討を行い、下記の取り組みを実施しました。
 (ア) 「利用者の虐待防止と対応マニュアル」(H27.3策定)の再周知(レベルアップ研修)
 (イ) アンガーマネジメント研修の開催(レベルアップ研修)
 (ウ) 他法人施設への視察研修
 (エ) 各事業所における虐待防止委員会の開催



第50回全国社会福祉事業団大会

5 資金等貸付事業の実施

県委託により、新たな修学資金等の貸付事業を実施しました。

事業名	貸付者数
修学資金等貸付事業	81人
《新》再就職準備金貸付事業	10人
《新》児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	6人
《新》ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	19人
《新》保育士修学資金貸付事業	6人
《新》保育補助者雇上費貸付事業	1法人
《新》未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業	3人



辰野町地域活動支援センター愛称募集

6 第50回全国社会福祉事業団大会の開催

ホスト県として全国社会福祉事業団大会の開催に協力しました。

日 時 : 平成28年10月21日(木)・22日(金)
 会 場 : ホテルメルパルク長野(長野県長野市)
 担当ブロック : 関東・甲信越ブロック
 (幹事事業団: 神奈川県社会福祉事業団)
 会場担当 : 長野県社会福祉事業団
 参加者数 : 68事業団 309人



ザワメキアート展2016



7 各事業所の取り組み

新たな取り組みとして下記の事業を実施しました。
 (ア) 愛称の募集(辰野町障がい者就労支援センター)
 (イ) ザワメキアート展2016の開催(サンアップル)
 (ウ) サポートスポレクプログラム集の作成(サンアップル)



サポートスポレクプログラム集

平成28年度 収支決算書 (法人合算)

資金収支計算書

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	199,050,000	197,924,935	△ 125,065
	就労支援事業収入	112,892,000	110,655,047	△ 2,236,953
	障害福祉サービス等事業収入	2,461,140,000	2,433,432,437	△ 27,707,563
	その他の事業収入	1,101,895,000	1,101,320,180	△ 574,820
	経常経費寄附金収入	851,000	1,126,972	△ 275,972
	受取利息配当金収入	1,083,000	1,101,987	△ 18,987
	その他の収入	30,501,000	29,676,519	△ 824,481
	事業活動収入計(1)	3,906,412,000	3,875,238,077	△ 31,173,923
	支出			
	人件費支出	2,066,089,000	1,976,468,218	△ 89,620,782
	事業費支出	421,307,000	387,207,335	△ 34,099,665
事務費支出	392,991,000	366,677,112	△ 26,313,888	
就労支援事業支出	112,765,000	110,046,154	△ 2,718,846	
支払利息支出	2,301,000	2,030,090	△ 270,910	
その他の支出	19,480,000	18,487,139	△ 992,861	
事業活動支出計(2)	3,014,933,000	2,860,916,048	△ 154,016,952	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	891,479,000	1,014,322,029	△ 122,843,029	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	2,100,000	0	△ 2,100,000
	施設整備等寄附金収入	5,000,000	5,000,000	0
	施設資金借入金収入	1,836,000	1,836,000	0
	施設整備等収入計(4)	8,936,000	6,836,000	△ 2,100,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	20,979,000	20,627,981	△ 351,019
	固定資産取得支出	158,836,000	153,988,691	△ 4,847,309
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,118,000	2,117,664	△ 336
	施設整備等支出計(5)	181,933,000	176,734,336	△ 5,198,664
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 172,997,000	△ 169,898,336	△ 3,098,664
	その他の活動による収支	収入		
長期貸付金回収収入		9,789,000	9,787,481	△ 1,519
積立資産取崩収入		255,799,000	229,772,401	△ 26,026,599
その他の活動収入計(7)		265,588,000	239,559,882	△ 26,028,118
支出				
長期貸付金支出		108,681,000	108,680,564	△ 436
積立資産支出		913,452,000	911,022,264	△ 2,429,736
その他の活動支出計(8)		1,022,133,000	1,019,702,828	△ 2,430,172
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 756,545,000	△ 780,142,946	△ 23,597,946
予備費支出(10)		△ 1,195,000	0	△ 1,195,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 42,225,000	64,280,747	△ 106,505,747
前期末支払資金残高(12)		478,439,000	512,910,465	△ 34,471,465
当期末支払資金残高(11)+(12)	436,214,000	577,191,212	△ 140,977,212	

事業活動収支計算書

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	
サービス活動増減の部	収入				
	児童福祉事業収入	197,924,935	200,355,463	△ 2,430,528	
	就労支援事業収入	110,655,047	104,572,694	△ 6,082,353	
	障害福祉サービス等事業収入	2,433,432,437	2,371,557,398	△ 61,875,039	
	その他の事業収入	1,101,320,180	805,265,022	△ 296,055,158	
	経常経費寄附金収入	1,126,972	2,326,184	△ 1,199,212	
	その他の収入	262,037	314,173	△ 52,136	
	サービス活動収入計(1)	3,844,721,608	3,484,410,934	△ 360,310,674	
	費用				
	人件費	2,046,940,597	1,960,738,325	△ 86,202,272	
	事業費	387,207,335	405,416,184	△ 18,208,849	
	事務費	366,685,392	348,064,329	△ 18,601,003	
就労支援事業費用	108,787,086	104,086,898	△ 4,700,188		
返還免除額	112,490,000	0	△ 112,490,000		
減価償却費	151,946,615	140,314,584	△ 11,632,031		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 50,272,284	△ 44,146,137	△ 6,126,147		
その他の費用	220,689	130,000	△ 90,689		
サービス活動費用計(2)	3,124,005,380	2,914,624,183	△ 209,381,197		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	720,716,228	569,786,751	△ 150,929,477		
サービス活動外増減の部	収入				
	受取利息配当金収入	1,101,987	1,653,023	△ 551,036	
	その他のサービス活動外収入	29,414,482	26,914,654	△ 2,499,828	
	サービス活動外収入計(4)	30,516,469	28,567,677	△ 1,948,792	
	費用				
	支払利息	2,030,090	2,357,990	△ 327,900	
	その他のサービス活動外費用	18,266,440	1,549,571	△ 16,716,869	
	サービス活動外費用計(5)	20,296,530	3,907,561	△ 16,388,969	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	10,219,939	24,660,116	△ 14,440,177	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	730,936,167	594,446,867	△ 136,489,300	
	特別増減の部	収入			
		施設整備等補助金収入	2,100,000	51,927,000	△ 49,827,000
特別利益計(8)		7,100,000	56,927,000	△ 49,827,000	
固定資産売却損・処分損		13,601	483,272	△ 469,671	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 228,790	0	△ 228,790	
国庫補助金等特別積立金積立額		50,931,000	1,260,000	△ 49,671,000	
特別費用計(9)		60,715,811	1,743,272	△ 58,972,539	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 53,615,811	55,183,728	△ 108,799,539	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		677,320,356	649,630,595	△ 27,689,761	
法人税、住民税及び事業税(12)		0	0	0	
法人税調整額(13)		0	0	0	
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)		677,320,356	649,630,595	△ 27,689,761	
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(15)	1,843,428,599	1,735,432,330	△ 107,996,269	
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	2,520,748,955	2,385,062,925	△ 135,686,030	
	基本金取崩額(17)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(18)	294,454,397	162,020,673	△ 132,433,724	
	その他の積立金積立額(19)	851,806,660	703,654,999	△ 148,151,661	
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,963,396,692	1,843,428,599	△ 119,968,093	

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

資産の部				負債の部			
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	867,505,884	990,654,256	△ 123,148,372	流動負債	377,096,535	503,049,754	△ 125,953,219
現金預金	482,587,548	502,525,124	△ 19,937,576	短期運営資金借入金	3,057,226	3,057,226	0
事業未収金	365,378,435	473,344,793	△ 107,966,358	事業未払金	269,219,506	461,312,829	△ 192,093,323
未収補助金		1,067,000	△ 1,067,000	その他の未払金	653,442	653,442	0
貯蔵品	150,370	261,310	△ 110,940	1年以内返済予定設備資金借入金	17,994,270	26,592,596	△ 8,598,326
原材料	2,545,701	1,286,633	△ 1,259,068	1年以内返済予定リース債務	2,117,664	0	△ 2,117,664
立替金	12,289,503	8,590,236	△ 3,699,267	預り金	7,954,126	1,523,039	△ 6,431,087
前払金	546,721	363,374	△ 183,347	職員預り金	6,879,791	9,871,821	△ 2,992,030
前払費用	188,680	148,960	△ 39,720	前受金	1,400	31,698	△ 30,298
短期貸付金	3,057,226	3,057,226	0	仮受金	3,480	7,103	△ 3,623
仮払金	761,700	9,600	△ 752,100	賞与引当金	69,215,630	0	△ 69,215,630
固定資産	4,706,247,472	4,028,658,211	△ 677,589,261	固定負債	605,360,904	612,717,078	△ 7,356,174
基本財産	1,019,728,946	957,142,815	△ 62,586,131	設備資金借入金	167,229,553	177,423,208	△ 10,193,655
土地	84,127,898	84,127,898	0	リース債務	2,823,552	0	△ 2,823,552
建物	920,601,048	858,014,917	△ 62,586,131	退職給付引当金	335,434,992	337,709,226	△ 2,274,234
定期預金		4,500	△ 4,500	全事協退職年金共済引当金	99,872,807	97,584,644	△ 2,288,163
投資有価証券	15,000,000	14,995,500	△ 4,500				
その他の固定資産	3,686,518,526	3,071,515,396	△ 615,003,130				
建物	20,296,904	15,968,827	△ 4,328,077				
構築物	16,950,024	13,501,474	△ 3,448,550				
機械及び装置	43,343,237	24,904,954	△ 18,438,283				
車輜運搬具	24,674,555	21,197,947	△ 3,476,608				
器具及び備品	49,267,024	37,950,293	△ 11,316,731				
建設仮勘定	8,607,600	122,640,851	△ 114,033,251				
有形リース資産	4,941,216	0	△ 4,941,216				
権利	2,366,907	2,504,688	△ 137,781				
ソフトウェア	7,845,558	3,594,006	△ 4,251,552				
長期貸付金	609,432,821	623,029,738	△ 13,596,917				
退職給付引当資産	335,434,992	337,709,226	△ 2,274,234				
貸付原資産積立資産	1,368,271,615	707,433,096	△ 660,838,519				
人件費積立資産	228,474,171	234,337,504	△ 5,863,333				
施設整備等積立資産	525,994,078	501,604,150	△ 24,389,928				
全事協退職年金共済預け金資産	99,872,807	97,584,644	△ 2,288,163				
長期前払費用	570,300	685,450	△ 115,150				
その他の固定資産	336,542,927	323,864,758	△ 12,678,169				
工賃変動額積立資産	2,446,643	1,818,643	△ 628,000				
設備等整備積立資産	1,185,147	1,185,147	0				
資産の部合計	5,573,753,356	5,019,312,467	△ 554,440,889				
				負債の部合計	982,457,439	1,115,766,832	△ 133,309,393
				純資産の部			
				基本金	41,000,000	31,000,000	△ 10,000,000
				第一号基本金	41,000,000	31,000,000	△ 10,000,000
				国庫補助金等特別積立金	460,527,571	460,097,645	△ 429,926
				その他の積立金	2,126,971,654	1,569,019,391	△ 557,952,263
				貸付原資産積立金	1,368,271,615	707,433,096	△ 660,838,519
				人件費積立金	228,474,171	234,337,504	△ 5,863,333
				施設整備等積立金	525,994,078	501,604,150	△ 24,389,928
				工賃変動額積立金	2,446,643	1,818,643	△ 628,000
				設備等整備積立金	1,185,147	1,185,147	0
				建設積立金	0	122,640,851	△ 122,640,851
				次期繰越活動増減差額	1,963,396,692	1,843,428,599	△ 119,968,093
				(うち当期活動増減差額)	677,320,356	649,630,595	△ 27,689,761
				純資産の部合計	4,591,295,917	3,903,545,635	△ 687,750,282
				負債及び純資産の部合計	5,573,753,356	5,019,312,467	△ 554,440,889

人事異動

新規採用

(平成29年4月1日付)

本部事務局 主事/宮腰恵美子(総務課)
水内荘 支援員/湯本美智子(支援課)
八雲日和/小春日和/歩楽里 主事/島津由香
信濃学園 支援員/土屋ゆか(支援課、傳田利佳(支援課)、看護師兼支援員/野村博美(支援課)、支援員/柳沢春香(支援課)、日向好美(支援課)
松本あさひ学園 支援員/馬場佳那(治療支援課)、塚田啓祐(治療支援課)
松本ひよこ 支援員/大橋史恵、小林かをる
伊那ゆいまゝ 主事/田中美香
西駒郷 看護師/市河紀子(総務課)
支援員/百瀬麻里絵(ひまわり支援課、下平春陽(ひまわり支援課、堀内信輔(ひまわり支援課、野村悦子(さくら支援課)、志村剛(さくら支援課)、山岸貴樹(さくら支援課)、小林建太(駒ヶ根日中支援課、櫻沢慎一(まっば支援課、相馬さおり(わく富田)、下島真由美(わく富田)
上伊那圏域障がい者総合支援センター 支援員/守屋麻美、矢野芳子
障がい者福祉センター 主事/柴山幸子(総務課)、指導員/砂川愛花(スポーツ課、三上大成(スポーツ課)

事業所間異動等

(平成29年4月1日付)

本部事務局 事務局長/善哉健次(本部事務局次長兼総務課長)、次長兼総務課長/北原和夫(再)、係長/中村勘二(本部事務局主任)
水内荘 所長/小島健一(松本あさひ学園治療支援課長)、係長/富田久未子(みのちグループホームセンター主任支援員)
みのちグループホームセンター 所長/小島健一(兼、係長/富田久未子(兼)、支援員/高橋直貴(水内荘支援員)
歩楽里 所長/小島健一(兼)
八雲日和 所長/板倉吉子(再)、係長/増田佳奈江(ほっとグループホーム伊南係長)
小春日和 所長/板倉吉子(兼)
長野市地域活動支援センターこぶし 所長/小宮山紀道(水内荘所長)
信濃学園 所長/森岡恵子(西駒郷宮田支援部長)、総務課長/森岡恵子(兼)、主事兼支援員/戸部淳(松本ひよこ主事兼支援員、専門幹/長田基住(再)、支援員/青木翼(西駒郷支援員)、荒川俊

(八雲日和支援員)、清野沙織(水内荘支援員)
松本あさひ学園 次長/小澤聖(西駒郷管理部長)、治療支援課長/小澤聖(兼、支援員/降旗誠(信濃学園支援員)、林孝行(信濃学園支援員)
松本ひよこ 所長/北澤和明(ほっとグループホーム伊北所長)、主任支援員/竹内紳一郎(信濃学園主任支援員)、主事/土屋美香(障がい者福祉センター主事)、支援員/北村健一(松本あさひ学園支援員)

大北圏域障害者就業・生活支援センター 係長/池田裕恒(信濃学園係長)
ほっとグループホーム伊北 所長/矢花尚利(再)
ほっとグループホーム伊南 所長/矢花尚利(兼、支援員/坂井妙子(西駒郷支援員)
ほっと居宅 所長/矢花尚利(兼、支援員/坂井妙子(兼)

伊那ゆいまゝ 所長/宮下敦志(西駒郷駒ヶ根支援事業部長)、支援員/瀧澤龍一(辰野町障がい者就労支援センター支援員)
ほっとワークス・みのわ 支援員/小林明善(松本ひよこ支援員)
辰野町障がい者就労支援センター 専門員/小池忠昭(伊那ゆいまゝ専門員)、支援員/征矢野有香里(西駒郷支援員)

西駒郷 所長/塩沢総夫(本部事務局事務局長)、管理部長/尾野成彦(西駒郷ひまわり支援課長)、総務課長兼庶務係長兼企画調整係長兼地域移行推進課長兼自活訓練係長兼地域生活支援係長/宮下洋二(再)、支援員/小河千折(ほっとグループホーム伊南支援員、駒ヶ根支援事業部長/尾野成彦(兼、ひまわり支援課長/市瀬元彦(西駒郷総務課長)、専門員/小野沢真(松本ひよこ専門員、駒ヶ根日中支援課長/有賀美希恵(伊那ゆいまゝ)所長、わく西駒郷長/有賀美希恵(兼)、宮田支援事業部長/塩沢総夫(兼支援員、まっば支援課長/今村秀枝(兼、係長/矢沢久美(西駒郷駒ヶ根日中支援課係長)

上伊那圏域障がい者総合支援センター 所長/田中君彦(再)
障がい者福祉センター 所長/佐藤靖(信濃学園所長)、次長/小宮山紀道(兼、総務課長/竹内誠(再)、管理係長/竹内誠(兼)、スポーツ課長/山崎珠美(障がい者福祉センター係長、専門幹/北沢好宏(本部事務局付専門幹)、指導員/玉井いつさ(西駒郷支援員)

(平成29年5月1日付)
長野市地域活動支援センターこぶし 支援員/湯本美智子(兼)
障がい者福祉センター 専門員/中村勘二(兼)

職員派遣・交換研修等

(平成29年4月1日付)

(公財)長野県障がい者スポーツ協会 指導員/小野智子(本部事務局※事業団職員)
松本児童相談所 推進員/中島優香(松本あさひ学園※事業団職員)
松本あさひ学園 心理治療員/荻澤歩(松本児童相談所※県職員)

退職

(平成29年3月31日付)

八雲日和/小春日和 所長/板倉吉子
長野市地域活動支援センターこぶし 所長/伊藤敏(再)
信濃学園 支援員/平林さゆり
松本あさひ学園 栄養士/逸見美紀、支援員/小林千織
松本ひよこ 支援員/長尾亜希子
西駒郷 所長/滝茂樹(再)、主事/富松夕貴、支援員/河口秀之、竹倉文恵、藤澤祥太、田中隼、係長/黒河内由美
上伊那圏域障がい者総合支援センター 所長/片桐美登(再)
障がい者福祉センター 所長/関口二道、総務課長/小林善信(再)、スポーツ課長/奥村賢三(再)、指導員/小川光章
伊那ゆいまゝ 支援員/山岸直子
(兼)他職との兼務職員(再)退職後、再雇用職員等

「ほっとワークス・みのわ」平成30年4月に移転します!

ほっとワークス・みのわは、開所12年目を迎え、建物の老朽化、利便性の悪さ、上伊那地域に日中活動の場が少ない等の理由で、移転する事となりました。現在の就労継続B型事業に加え、新たに生活介護事業を開始し、多機能事業所として平成30年4月にスタートする予定です。店舗やイトインの喫茶スペースを設け、地域の方々に利用して頂き、地域の活性化・交流などをさらに広げていけたらと考えています。



移転に関するお問い合わせは「ほっとワークス・みのわ」0265-71-3633(柘植)まで

プレゼント「ラスク詰め合わせ」



支援助員 柘植 健司からのメッセージ
 ほっとワークス・みのわの食パンを使ったサクサクラスク。皆様大好評のラスクです。手作りの食パンを使ったラスクは甘味もあり、サクサクした食感、一度食べたらずみつきになります。おやつにお腹が空いた時などにいかがでしょうか?
 シュガー・ガーリック・黒糖・シナモン味の詰め合わせです。4つの味をお楽しみいただけます。ぜひ一度ご賞味下さい。



事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて本部事務局までお寄せ下さい。11月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で、「ほっとワークス・みのわ」の「ラスク詰め合わせ」を5名の方にプレゼントいたします。
 なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(プレゼントの発送は12月頃を予定しています)

◆平成28年度寄付一覧

寄付申出者	寄付先	寄付内容
長野ブロック事業所協力会様	八雲日和	5,000,000円
株式会社北澤電機製作所様	西駒郷	300,000円
匿名希望(元職員)様	松本ひよこ	210,000円
出光興産グループ様	伊那ゆいまゝ	ガソリンカードほか
ザ・ビッグ山形店様	信濃学園	クリスマスケーキほか

中学生プロ棋士の連勝記録更新で久しぶりに将棋界が盛り上がりましたが、羽生善治さんの名言に「私は才能は一瞬のひらめきだと思っていた。しかし今は10年とか20年30年を同じ姿勢で同じ情熱を傾けられることが才能だと思っている。」というものがあります。第3次長期構想のキャッチコピーは「夢・情熱・連携が織りなす豊かな暮らし」です。利用者の夢を実現するため、日々「情熱」を持って業務に取り組みたいと思います。(中村)

編集後記

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F
 tel : 026-228-0337 fax : 026-228-0310
 URL : http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/